

学校法人 加計学園 平成19年度事業報告 【岡山理科大学】

I. 事業の概要（全般）

《申請関係》

- (1) 大学院理学研究科臨床生命科学専攻（修士課程）の設置届を提出しました。
また、同専攻の教免課程認定の申請を行いました。
- (2) 理学部動物学科の設置届を提出しました。
また、同学科の教免課程認定の申請を行いました。
- (3) 工学部バイオ・応用化学科に好適環境水によるアクアバイオコースを開設する学則変更届を提出しました。

《人事、組織》

- (1) 任期満了に伴う学長改選が行われ平成20年度より波田善夫氏が就任することとなりました。
- (2) 大学院事務室を廃止し、業務内容に応じた部署に業務を移管しました。
- (3) 入試業務と広報業務の連携強化のため、入試部と広報室を統合し、入試広報部を設置しました。
- (4) 図書館事務室の雑誌情報課と図書情報課とを統合して、資料情報課にしました。
- (5) 岡山理科大学事務局長には、渡邊良人氏（千葉科学大学事務局長）が就任しました。

《教育関係》

- (1) ノーベル物理学賞受賞者小柴昌俊先生講演会を開催しました。（H19.5.29実施）
- (2) 工学部生体医工学科を開設しました。（平成19年4月）
- (3) 工学部機械システム工学科が技術者教育プログラム（JABEE）の中間審査を10月に受審し、結果、認定継続（2007年4月1日から3年間）となりました。
- (4) 工学部電子工学科を電気電子システム学科に名称変更しました。（平成19年4月）。
- (5) 総合情報学部建築学科を開設しました。（平成19年4月）
- (6) 中国管理軟件学院との教育交流協定締結（H19.4.1締結）により、平成20年度編入学生受け入れ募集を行いました。
- (7) 下関国際高等学校との間で教育交流協定締結（H19.8.2）によりメディアを利用して行う授業による高大連携を開始しました。
- (8) 岡山後楽館高等学校との間で教育交流協定が締結されました。（H19.12.17）これに基づき、平成20年度より「高校生の大学授業体験」受け入れを開始いたします。
- (9) 加計学園と津曲学園鹿児島高等学校との間で教育交流協定が締結されました。（H19.11.27）
- (10) 「大学コンソーシアム岡山」に環太平洋大学が参加したことに伴い16大学間で改めて単位互換に関する協定が締結されました。（H19.10.1）
- (11) 岡山県立児童会館と連携協力に関する協定が締結されました。（H19.12.12）
- (12) 卒業発表コンテストを開催しました。（H20.2.29）

II. 大学の概要

1. 学生の定員現員数

(平成19年5月1日現在)

研究科・学部・学科等		定員数		現員数				
		入学定員	収容定員	1年	2年	3年	4年	合計
大 学 院	理学研究科(修士)	67	134	81	89	—	—	170
	" (博士)	13	39	6	7	2	—	15
	工学研究科(修士)	68	136	42	55	—	—	97
	" (博士)	5	15	0	2	4	—	6
	総合情報研究科(修士)	27	54	34	30	—	—	64
" (博士)	2	6	2	6	5	—	13	
	計	182	384	165	189	11	—	365
理 学 部	応用数学科	85	340	101	125	105	93	424
	化学科	75	315	74	68	82	82	306
	応用物理学科	75	300	52	68	75	56	251
	基礎理学科	80	315	69	95	113	82	359
	生物化学科	90	360	103	126	114	98	441
	臨床生命科学科	85	330	103	98	116	89	406
	計	490	1,960	502	580	605	500	2,187
工 学 部	バイオ・応用化学科	80	350	50	78	83	89	300
	機械システム工学科	85	355	86	94	99	100	379
	電気電子システム学科	70	340	61	66	82	101	310
	情報工学科	85	415	95	132	102	115	444
	福祉システム工学科	—	70	—	—	2	73	75
	知能機械工学科	70	210	37	42	65	—	144
	生体医工学科	60	60	54	—	—	—	54
	計	450	1,800	383	412	433	478	1,706
総 合 情 報 学 部	情報科学科	80	350	74	85	103	76	338
	コンピュータコミュニケーション学科	—	120	—	16	32	35	83
	生物地球システム学科	80	320	70	76	100	81	327
	社会情報学科	70	280	72	73	50	79	274
	建築学科	80	80	59	—	—	—	59
	計	310	1,150	275	250	285	271	1,081
(学部計)		1,250	4,910	1,160	1,242	1,323	1,249	4,974
	理学専攻科	30	30	—	—	—	—	—
	教職特別課程	50	50	9	—	—	—	9
合 計		1,512	5,734	1,334	1,431	1,334	1,249	5,348

(単位：人)

2. 学年暦

	春季休業	入学宣誓式	夏季休業	冬季休業	学年末休業	学位記授与式
岡山理科大学	4月 1日	4月 3日	8月 6日	12月27日	3月 4日	3月20日
	～ 4月 5日		～ 9月19日	～ 1月 6日	～ 3月31日	

Ⅲ. 各事業の概要

1. 教育・研究活動の進捗状況

《教育関係》

- (1) 第三者評価（大学基準協会の相互評価）の結果をもとに全学的なカリキュラムの見直しを行いました。
- (2) 導入教育や低学力の学生を支援しました。
- (3) 日本マレーシア高等教育大学連合プログラム（JAD）（3年次編入）が始まりました。
今年度現在の状況：海外からの志願者8人の内6人が合格しました。
- (4) 日本国際教育大学連合（JUCTe）によるインドネシアのブラジャヤ大学からの大学院修士ツイニングプログラムを検討、実施に向けて受入れのための法整備を行いました。
- (5) 加計グループ大学間連携協力を推進しました。

《研究関係》

- (1) ハイテク・リサーチ・センター整備事業
工学研究科の大寺純蔵教授を研究代表者として、平成18年度から新規3年計画で開始され、2年目が終了しました。
- (2) 学術フロンティア推進事業
理学研究科の金子敏明教授を研究代表者として、平成15年度から継続5年計画で開始し、平成19年度で事業を終了しました。
- (3) オープン・リサーチ・センター整備事業
自然科学研究所の板谷徹丸教授を研究代表者として、平成17年度から新規5年計画で開始し、平成19年度で3年目を迎えたため、文部科学省に中間報告を提出しました。
- (4) 社会連携研究推進事業
工学研究科の金枝敏明教授を研究代表者として、平成18年度から新規5年計画で開始し、平成19年度で2年目を迎えました。

《学外連携》

- (1) 競争的研究資金の獲得の推進、共同研究や受託研究をコーディネートし、適正な執行に努めました。
 - ① 科研費 35件、71,070千円
 - ② 科研費以外の研究費助成金 16件、11,300千円
 - ③ 共同研究 17件、25,830千円
 - ④ 受託研究 26件、44,042千円
- (2) 研究シーズの公開の企画と技術発表会への参加を推進しました。
 - ① 「OUSフォーラム2007」の開催（H19.11.22；岡山（於））
 - ② 「CIC東京新技術説明会」参加 2名（H19.7.27、H20.1.25；東京（於））
 - ③ 「産学技術交流マッチング」参加 1名（H19.7.25；大阪（於））
 - ④ 「岡山リサーチパーク研究・展示発表会」参加 14名（H20.2.1日；岡山（於））
- (3) 教員の研究成果の知的財産権化の推進をしました。
 - ① 「特許セミナー」を2回開催（特許相談会も併せて開催）
 - ② 本学より特許出願7件
 - ③ 本学出願特許による民間企業への有償技術移転3件
- (4) 研究室及び研究機器等を外部へ公開しました。
 - ① 岡山県主催 100研究室訪問 2回開催（浜田研究室、愛甲研究室）

(5) 学内研究者の地域産業界との交流を推進しました。

- ①岡山県主催 100社訪問参加 月2回開催
- ②中小企業金融公庫岡山支店主催の交流会参加
- ③おかやま信用金庫主催の交流会参加

(6) 委託公開講座（生涯学習大学；8日間延べ16講座）を開講しました。

- ①H19.9.1からH19.10.20の間、毎週土曜日に開講、受講生23名

(7) 産学官連携等の種々データをまとめ、【学外連携白書2006】を作成しました。

[H19.11に発行（平成18年度版）]

《施設・設備関係》

(1) 施設・環境整備関係（73,900千円）

(千円)

- ① 第3・7・8号館のチャイム設置工事を実施しました。 2,850
- ② 第5号館第5号館廊下改修工事を実施しました。 7,313
- ③ 第5号館3階、4階及び第九学舎1階JABEE室・3階実験室等改修工事を実施しました。 9,373
- ④ 第十学舎（11031・11071講義室の間仕切り）改修工事を実施しました。 8,343
- ⑤ 第六学舎講義室改修工事を実施しました。 3,605
- ⑥ 第21号館防火用採水口設置工事を実施しました。 423
- ⑦ 岡山理科大学学南町研修館下水道切替工事を実施しました。 1,100
- ⑧ 土地購入（倉敷市川西町）をしました。 20,756
- ⑨ 25号館5F学習相談室設置改修工事を実施しました。 4,893
- ⑩ 9号館（本部）1階2階改修工事を実施しました。 15,244

(2) 設備・補助金関係（217,603千円）

- ① 6チャンネル人工股関節検査システム（社会連携研究推進事業による大型機器）を購入しました。（補助金名：私立学校施設整備費補助金：19,337千円） 45,500
- ② 動物細胞培養システム（社会連携研究推進事業による大型機器）を購入しました。（補助金名：私立大学等研究設備整備費補助金：6,300千円） 9,450
- ③ ICP質量分析装置（社会連携研究推進事業による大型機器）を購入しました。（補助金名：私立大学等研究設備整備費補助金：23,100千円） 34,650
- ④ サイバーキャンパス基盤ネットワークシステム事業（情報処理センター）（H18.10～）のリース料の支払いをしました。 63,630
- ⑤ 光物性測定システムを購入しました。（補助金名：私立大学等研究設備整備費補助金：21,000千円） 31,500
- ⑥ 自動制御静的加力装置一式を購入しました。（補助金名：私立大学等研究設備整備費補助金：10,262千円） 15,393
- ⑦ サイバーキャンパス基盤ネットワークシステム（Network）保守を実施しました。 15,000
- ⑧ 第十学舎（11031・11071講義室）改修工事に伴う什器備品を購入しました。 2,480

(3) 届出・申請関係（5,345千円）

- ① 理学部 臨床生命科学科に関する事業計画を実施しました。 3,900
図書・学術雑誌
- ② 工学部 生体医工学科に関する事業計画を実施しました。 770
図書・学術雑誌（創設費）
- ③ 総合情報学部 建築学科に関する事業計画を実施しました。 675
図書・学術雑誌（創設費）

《FD・SD》

(1) FDの一環として、各学部の退学者削減の取り組みをFD講演会で発表しました。

(H19.11.29実施)

(2) SDの一環として、地方の大学として成功している松本大学の事務局長小倉宗彦氏を講師に迎え、講演会を開催しました。(H19.12.7実施) 演題「地域と共に活性化するための経営戦略」

入学者数・卒業者数等は下表のとおりです。

入学者数一覧 (平成19年5月1日現在)

		入学者	留学生	社会人
大学院	博士	8	1	0
	修士	157	2	0
学部		1,160	26	1
専攻科		0	0	0
教職課程		9	0	0

(単位：人)

卒業者数等一覧

		卒業者 修了者・ 卒業者	退学者	満期退学者	除籍者	休学者	留年者
大学院	博士	8	5	1	0	0	1
	修士	165	6	0	1	0	7
学部		1,223	134	0	13	55	258
専攻科		0	0	0	0	0	0
教職課程		9	0	0	0	0	0

(単位：人)

2. 学生の募集・広報

広報活動の充実を図り、学生募集の拡大に努めました

3. 就職活動状況

■就職支援内容について

- (1) 就職ガイダンスについては、3年次生の5月末より第1回を行い2月までに計6回実施しました。
- (2) 低学年から就職意識の向上を目的として低学年対象の進路・就職ガイダンスを行いました。1年次生には4月の新入生オリエンテーション期間中に1回、2年次生には6月、11月、12月と3回実施しました。
- (3) 3年次生では就職模擬テストや就職筆記試験対策講座、業界セミナーなど就職筆記試験対策や業界研究といった採用試験に向けての事前準備のセミナー類を行い、模擬試験・適性試験を2回、セミナーは延べ回数にして20回、就職筆記試験対策講座は通年計画で22回行い、約400名が受講しました。
- (4) 今年度より、公務員試験対策講座を就職筆記試験対策講座との整合性・学習内容の整理を行った上で開催しました。2年次生から始まる2年間コースでは、102コマ。3年次生の1年コースは77コマを開講し、3年次生90名、2年次生55名が受講しました。
- (5) 学内で、3年次生・修士1年次生を対象とした就職シンポジウムを開催しました。内定者の就職活動報告会である、「内定者から聞く」を11月に実施しました。また、今年度新たに、企業の人事担当者を招き、採用したい学生像や選考のポイント等をホンネで語ってもらう「今やるべきことと企業のホンネ」を10月に開催しました。
- (6) 進路や就職に対する、意識の充実・向上のため、就職支援マガジン「ME (MAGAZINEFOREMPLOYMENT)」シリーズの内容充実を図り、1年次生向け「Vo1.1」(大学4年間の過ごし方)、2年次生向け「Vo1.2」(進路について考える)、3年次生・M1次生向け「Vo1.3」(就職活動実践テクニック)を作成し、ガイダンスで説明配布を行いました。
- (7) 大学の就職支援内容を、高校生及び保護者並びに高校の進路指導者に周知することを目的に、入試合格者を対象に大学4年間の支援体制を、「Vo1.0」としてパンフレットを作成し昨年同様に送付しました。
- (8) 2月には企業の採用担当者と学生の情報交換を行う、合同企業説明会を開催し、約315社の採用担当者と700人の3年次生・修士1年次生が面談しました。
- (9) 教職員と採用担当者との情報交換を目的とした就職懇談会を関連校と共催で開催しました。昨年度に続き首都圏における活発な雇用状況から、東京をはじめ、岡山、大阪、広島、福岡の計5都市にて開催しました。(企業数約1198社で1749名出席)
- (10) 4月には3、4年次生の学生と保護者を集めて「就職・進路懇談会」を実施し313組が出席しました。今年度の本学の就職状況や就職環境を保護者の方々へ説明しました。
- (11) 就職情報誌主催の合同企業説明会等へバスで引率(大阪2回、広島1回)し、のべ400名を超える学生が参加しました。これらの合同企業説明会は、全国規模で展開する企業や、特殊分野の企業が参加しており、企業研究、就職活動への意欲向上に繋がりました。
- (12) 求人情報を広く収集し、今年度は全国から求人情報3865件(昨年比+15%)の求人がありました。求人情報は、例年すべてデータ入力を行い、学生が希望の条件で検索できるようにしています。また、地域ごとに求人票およびパンフレットを保存し学生が自由に閲覧できるように整備しています。
- (13) 就職部ホームページで学生に就職支援情報を告知しました。求人情報3865件(昨年比+17%)、学内・学外会社説明会情報などを掲載し、学生に広く情報を提供しました。
- (14) 学生に向けて広く情報を提供するため、大学のメーリングリストを利用し、求人情報・ガイダンスやセミナーの案内をメール配信しました。
- (15) 学生の企業研究等に役立てるため、約10万件の企業情報を更新しました。

(16) 19年度も例年どおり、3月に卒業した学生を対象に、進路決定に関する活動の実態や進路に関する満足度や本学の就職支援の内容に対する満足度等を調査分析するため「進路に関するアンケート」を実施しました。就職する企業への満足度は84%（昨年比+5%）でありました。

■就職率および就職率の推移(2008年3月20日現在)

- (1) 平成19年度の就職率は全体で97%（昨年比-1%）となりました。
- (2) 学部別では理学部96%、工学部97%、総合情報学部97%となり、大学院全体では99%となっています。
- (3) 地域別就職先では関東25%、東海7%、近畿21%と都市圏での就職が18年度に引き続き回復・増加しています。都市圏の増加にともない岡山県の割合は25%（-6%）となりました。
- (4) 業種別就職先割合では、情報20%（+1%）、機械8%（-3%）、公務員1%（-3%）、サービス12%（-10%）、卸売12%（+6%）となりました。

4. 財務関係

主な収入及び支出

(単位：千円)

年度 科目	18年度決算額	19年度決算額
学納金収入	8,173,552	7,761,787
補助金収入	1,531,070	1,186,642
その他収入	370,631	490,883
帰属収入合計	10,075,253	9,439,312
基本金組入額合計	△ 746,392	△ 80,064
消費収入の部合計	9,328,861	9,359,248
人件費	5,178,832	5,403,545
教育研究経費	2,982,329	2,849,372
管理経費	553,670	525,034
その他支出	170,297	150,481
消費支出の部合計	8,885,128	8,928,432

○収支改善対策の具体的取組と効果

18歳人口の減少によって学生数の確保が困難で、学生生徒等納付金収入の増額が見込めない状況下であることから、学生生徒等納付金収入だけに頼らない財務体質を目指すべく、科学研究費補助金や寄付金および各種補助金等への申請や企業との共同研究、受託研究等で積極的に外部資金を獲得するよう教員に求めています。